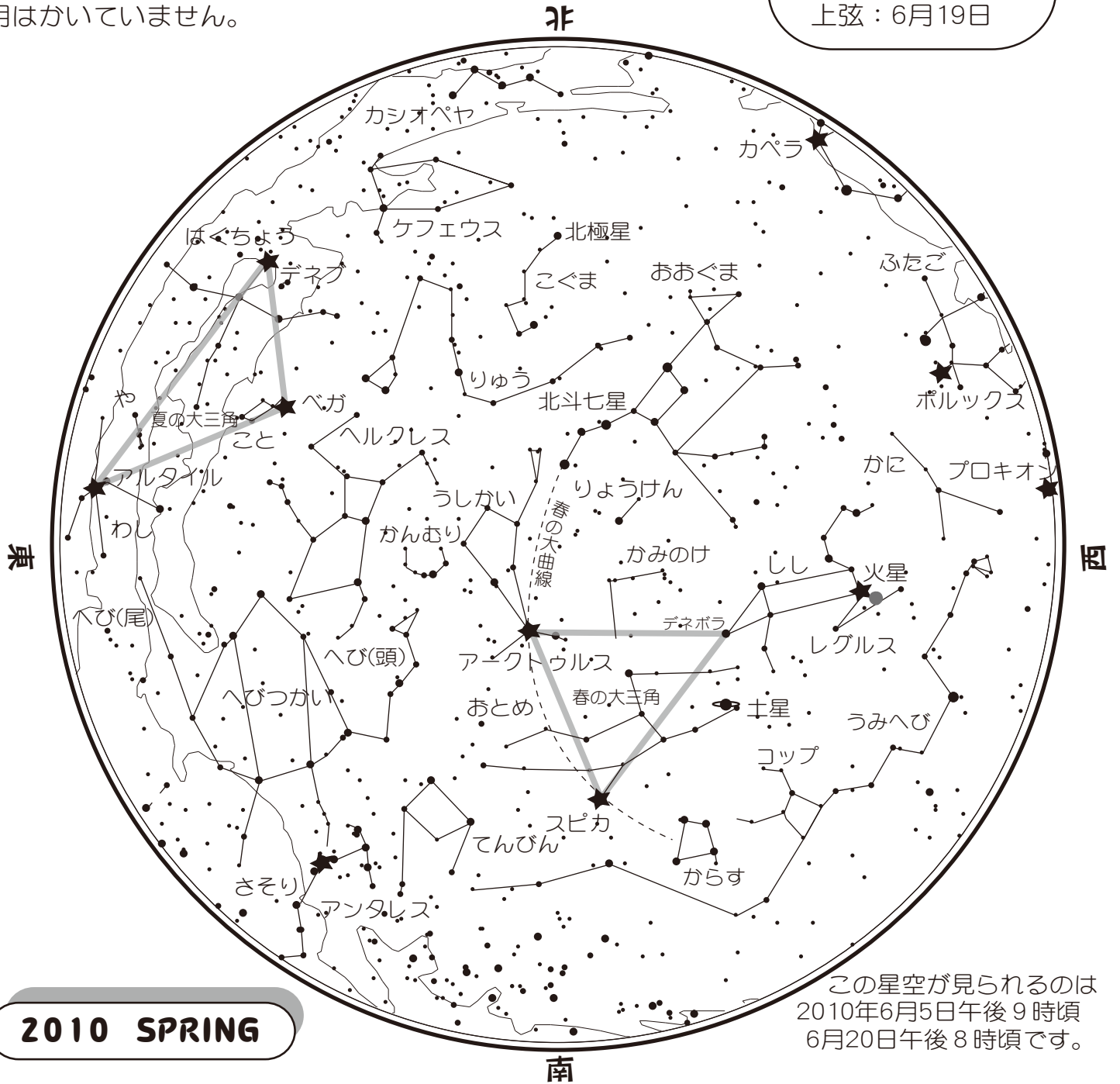


★ 姫路で見る6月前半の星空 ★

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。
この星図を見るときには見ている方向の方位を下にしてください。
★は一等星を表しています。
月はかいていません。

下弦：6月5日
新月：6月12日
上弦：6月19日



この星空が見られるのは
2010年6月5日午後9時頃
6月20日午後8時頃です。

2010 SPRING

夕暮れの西の空で一番星として輝くのは宵の明星、金星です。また、すっかり暗くなってからは、同じ太陽系の惑星の仲間、火星や土星も明るく輝いています。

北の空高くに、7つの星が水をすくう「ひしゃく」の形に並んだ北斗七星が見えています。ひしゃくの柄の部分のカーブをコンパスで半円をえがくようにのばしていくと、うしかい座のアルクトゥルス、おとめ座のスピカの二つの一等星を見つけることができます。北斗七星の柄の部分からのばした、スピカ、アルクトゥルス、さらにその先のからす座までの星の並びを「春の大曲線」と呼んでいます。また、アルクトゥルスとスピカ、しし座のしっぽの星デネボラをおすんでできるのが「春の大三角」です。

梅雨の時期をすぎると、暑い夏がすぐにやってきます。東の空にはもう夏の星座の星、はくちょう座のデネブ、こと座ベガ、わし座のアルタイルをおすんでできる「夏の大三角」が見られます。七夕のお話ではベガは織姫星、アルタイルは彦星です。